

札取り園児元気よく

社中央保で かるた大会 高段者模範試合も

福井市の社中央保育園による新春かるた大会が17日、同第二保育園の園児に日、社中央保育園で行われ、園児約80人が熱戦を繰り広げ、競技かるた高段者による「日本一」の模範試合も披露された。



競技かるた高段者の模範試合を見守る園児ら
17日、福井市の社中央保育園

大会は毎年の恒例行事で、先月から4歳児がこ
とわざかるた、5歳児が
百人一首の練習に励ん
できた。

園児たちは真剣な表情
で札を見つめ、歌が読み
上げられると「はい」と
元気よく手を伸ばした。
百人一首では上の句の読
み出しと同時に札を取る
場面も多く見られた。

今回初めて福井渚会の
川崎文義七段(26)と岩堀
聡美七段(28)とともに越
前市を招いた。全国大
会で何度も優勝経験のあ
る2人が「真剣勝負」で、
目にも止まらない速さで
札を取り合い、会場から
歓声が上がった。読み手

は岩堀さんの母親の晴美
三段が務めた。

園児たちは「札を取る
音がすごい」「はじいた
札が遠くまで飛んでびっ
くり」などと感激した様
子。最後に川崎七段らに
感謝を込め花束を贈っ
た。

(畑祐一郎)